アートランバー
フリーランバー
施工・取扱説明書 必ずお読みください

南海プライウッド株式会社
本社　〒760-0067　香川県高松市松福町1-15-10
北海道・東北営業グループ　TEL(087)825-3632　FAX(087)825-3695
関東甲信越営業グループ　TEL(087)806-3660　FAX(087)825-3645
首都圏営業グループ　TEL(087)825-3621　FAX(087)825-3645
中部営業グループ　TEL(087)825-3622　FAX(087)825-3646
近畿営業グループ　TEL(087)825-3623　FAX(087)825-3647
中四国営業グループ　TEL(087)825-3624　FAX(087)825-3648
九州営業グループ　TEL(087)825-3625　FAX(087)825-3649
特需営業グループ　TEL(087)825-3662　FAX(087)825-3669
新規需要開拓グループ　TEL(087)825-3631　FAX(087)825-3659

ご注意

ご使用になる前に必ずこの「施工・取扱説明書」をご一読いただきますよう、お願いいたします。間違った施工、取り扱いを行ないますと製品の品質劣化や損傷、ケガにつながる可能性があります。本書にそわず施工・取り扱いを行なった場合については、当社での保証はしかねますのでご注意ください。
お読みになったあとは、大切に保管し必要な時にお読みください。

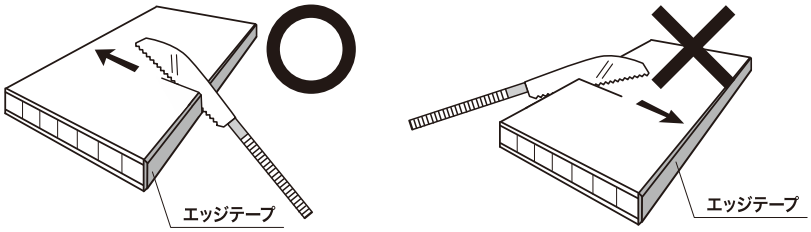
施工される方へ

**施工前に製品を
よくお確かめください。**

品質管理には万全を期していますが、万一品質に不都合な点がございましたら、販売店様または弊社営業まですぐにご連絡ください。施工前の製品に限り、販売店様を通じて良品と交換させていただきます。施工後の交換・補修は致しかねますので必ず施工前にご確認をお願いします。

アートランバーの施工について

① 必ず**エッジテープ側からカット**してください。

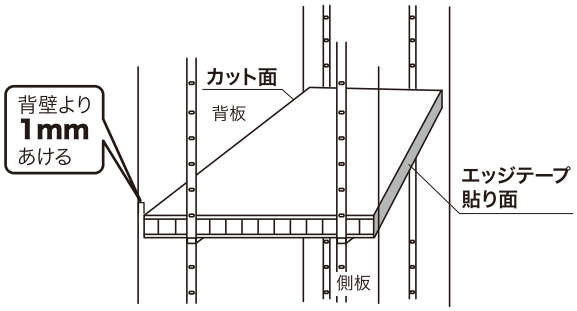


アートランバーの幅方向をカットする場合、必ずエッジテープのある側からカットを始めてください。
反対側からカットすると、エッジテープがはがれるおそれがあります。

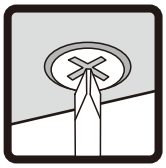
② クロス貼り後に棚板設置をする場合は、**クロスが充分に乾いてから（24時間以上経過後）**行なってください。
クロスが充分に乾いていないまま棚板を設置してしまった場合、クロスの損傷や、変色の原因になる可能性があります。

③ 可動棚板として施工する場合、
背壁面より棚板を1mmあけて設置してください。

背壁に設置した状態で放置すると、環境条件により、棚板跡が残る可能性があります。
※ハンガーパイプの取り付けはできません。



【弊社製品】ハンガーパイプ［上吊りタイプ］取り付けのご注意



電動ドライバー等、トルクの強い工具で施工する場合、ネジ山が損傷しないよう注意してください。
ビスの保持力を損なう危険性があります。

27mm厚を超えるアートランバーに【弊社製品】ハンガーパイプ［上吊りタイプ］を取り付けることはできません。

建築基準法に基づくホルムアルデヒド発散等級
この製品の材料は右記の通り自主表示登録を行なっております。

製造者：南海プライウッド株式会社
お問い合わせ先　品質保証グループ
TEL　087−894−8025

一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会表示登録	
発散等級	F☆☆☆☆
登録番号	K−000091
製造業者等名称	南海プライウッド株式会社
ロット番号	梱包に表示
問合わせ先	http://www.kensankyo.org/

発散等級区分：　F☆☆☆☆

製品名：　アートランバー
　　フリーランバー

ご注意
この用紙は建築基準法に基づく納入部材の確認書類となりますので、大切に保管して工事責任者へ渡してください。

施工される方・お施主さまへ

警告表示の種類と内容

人身事故や財産の損害を未然に防止するために、製品の取り扱いについて次のような警告表示をしています。内容をご理解のうえ、正しく安全にお使いください。

誤った取り扱いをした場合に生じる危険とその程度を、次のレベルで説明しています。

⚠注意

この表示を無視して誤った取り扱いを行なうと使用者などが傷害（※1）を負うことが想定されるか、物的損害（※2）の発生が想定される危害・損害の程度を示す。

（※1）傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、ケガ・やけど・感電などをさす。
（※2）物的傷害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどに関わる拡大損害をさす。

本文中に使われている図記号の意味は、次のとおりです。

- 「してはいけない」を示します。
- 「必ず行なっていただくこと」を示します。

⚠注意

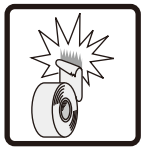
製品には乗らない。

安全のため製品には乗らないでください。
ケガ・死亡のおそれがあります。

耐荷重の目安を必ず守る。

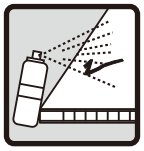
※詳しくは下記の**耐荷重の目安値**をご参照ください。

ご使用上のお願い



粘着テープ（養生テープ・セロハンテープ・シール等）は貼らない。

製品にに粘着テープ（養生テープ・セロハンテープ・シール等） を貼らないでください。表面化粧がはがれるおそれがあります。



スプレー塗料での補修禁止

対象柄：ブライトウォールナット／アッシュウォールナット／クリアホワイト／シェルホワイト

傷や汚れの補修をスプレー塗料で行なわないでください。特殊硬化コート紙（EBコート仕様）のため、後から塗料がはがれます。

重量物を吊さない。

アートランバーにパイプを取り付け、重量物を吊す場合はそれぞれの耐荷重値に適した施工を行ない、しっかりと固定されているかどうか確認してから吊してください。

油やインクの付着に注意する。

溶剤・薬品・油・インクなどが付着した場合はすぐに拭き取ってください。
放置するとシミや変色の原因となります。

水濡れに注意する。

製品に直接水をかけたり、濡れた物を置いたりしないでください。表面化粧の剥がれや反りの原因となります。

お手入れについて

日常のお手入れ。

日常のお手入れは、乾いた柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどい場合は、中性洗剤を水で薄めた物を布にしみ込ませ、堅く絞って拭き取り、良く乾燥させてください。

換気をしてください。

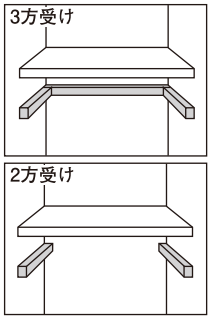
収納内部には湿気がこもりがちです。結露やカビの発生原因となりますので、時々内部の収納物を出して、充分な換気を行なってください。

耐荷重の目安値

棚板として使用する場合は、以下の数値を目安にして棚板の取り付け方法を考慮し、上部に置く収納物を制限してください。

下記の数値は目安であり保証値ではありません。許容重量を参考にしてそれ以上重い物は収納しないでください。（単位:kg）

厚み		15mm厚 [芯材]集成材				20mm厚 [芯材]集成材				27mm厚 [芯材]集成材			
奥行(mm)		300	450	600	910	300	450	600	910	300	450	600	910
間口910mm	3方受	20	25	30	40	55	70	75	85	110	110	135	185
	2方受	10	15	20	30	25	40	60	85	70	105	130	185
間口1360mm	3方受	15	15	15	15	40	40	40	40	90	100	105	125
	2方受					10	20	25	30	35	50	70	90
間口1810mm	3方受					35	20	20	15	60	70	70	65
	2方受									15	20	30	55



ご注意

1. 躯体強度、取り付け方法によっては性能を保持できない場合があります。
2. 間口寸法によってはたわみ量が大きくなり、実用に適さない場合があります。
   ※間口が1810mmよりも広い棚板については、必ず方立、もしくは束を施工してください。
   ※表中の斜線表示部分は、このサイズでは強度を確保できないため、使用しないでください。
3. 棚板の変形を防止するためにも荷重はできるだけ分散するようお願いします。
4. この荷重の目安は、長期荷重試験においてJIS規格の範囲内で使用できる荷重値に安全率を加味した算出値です。
5. 棚板の取り付けに弊社製品「棚柱セット」各種を使用する際は、「棚柱セット」の耐荷重値を確認の上、より小さい値を耐荷重の目安値としてご使用ください。
   ※棚柱セットでの棚板取り付けは「2方受」の耐荷重値に準じます。